

# TOYO ウォシユレットプリント C4・C4A 施工説明書

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

## 安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

**⚠警告** 誤った取り扱いをすると、「人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**⚠注意** 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物質的損害の発生が想定される」内容です。

○ このような絵表示は、禁止の行為であることを告げるものです。

**!** このような絵表示は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

## ⚠警告

**⊘** 浴室など湿気の多い場所には設置しない。  
(火災や感電の原因になります。)

**⊘** 交流100V以外では使用しない。  
(火災や感電の原因になります。)

**⬇** アース(D種接地工事100Ω以下)を確実に取り付ける。  
アース接続(アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)

**⊘** 使用できる水は、上水及び飲用可能な井戸水(地下水)のみ。  
その他の井戸水(地下水)や工業用水及び中水道に接続しない。  
禁止 (政府の炎症などを起こす原因になります。)

**⊘** 漏電保護プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない。  
禁止 (火災や感電の原因になります。)

**!** 漏電保護プラグは根元まで確実に差し込みないと火災や感電の  
必ず守る原因になります。)

## ⚠注意

**⊘** 止水栓を開けたままでは給水フィルター付水抜栓を取りはずさない。  
禁止 (水が噴き出します。)

**!** 給水フィルターを掃除した後は、給水フィルター付水抜栓を確実に締める。  
必ず守る (確実に締めないとお水漏れの原因になります。)

**⊘** 連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない。  
禁止 (水漏れの原因になります。)

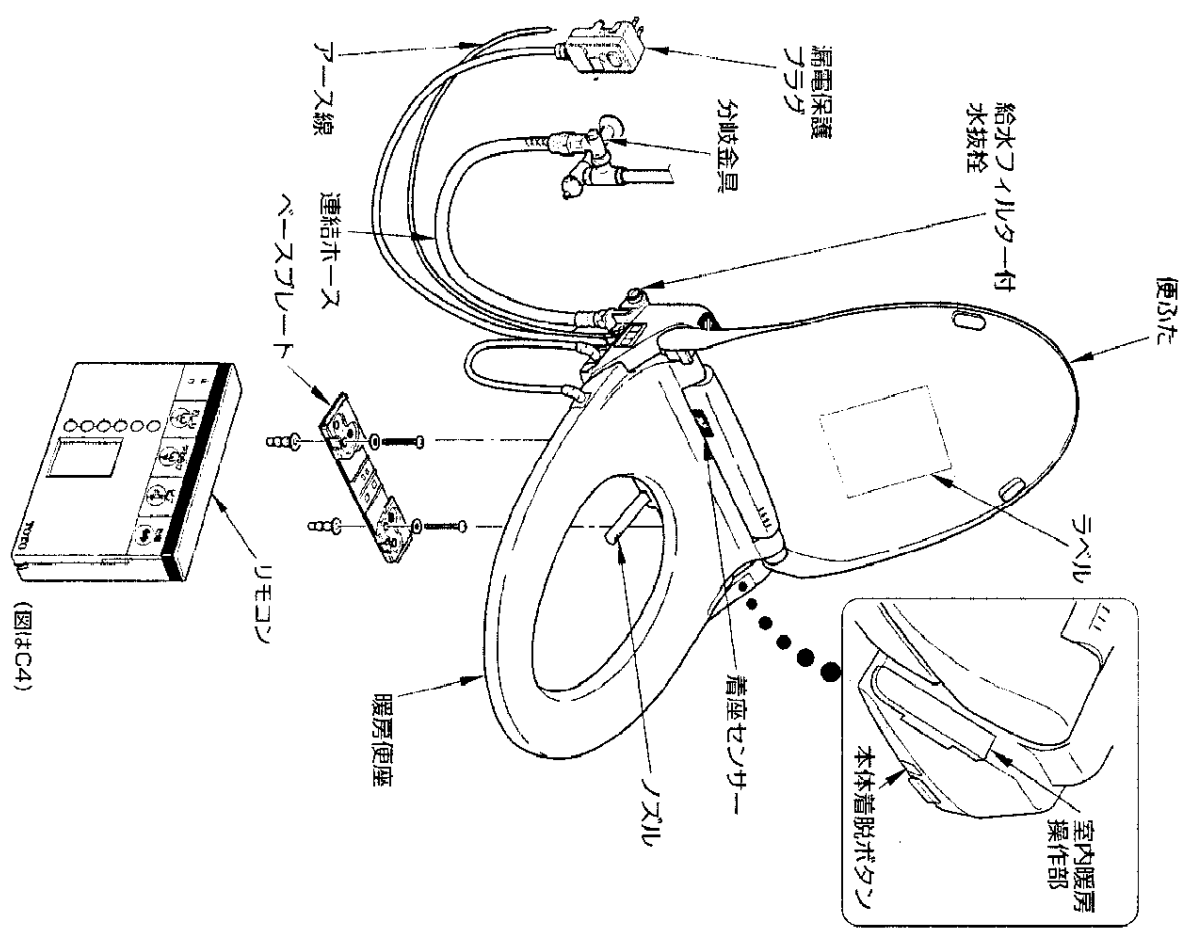
**⊘** 便座・便ふたを持って製品を持ちあげない。(本体がはすれて落下し、  
けがをする原因になります。)

## 取り付け前のご注意

1. 電源は交流100V (50/60Hz)、定格消費電力は1374Wです。必ずこの電力に適した配線をしてください。(専用配線をおすすめします。)
2. 電源コードの長さは1mです。コンセントの位置はウォシユレットが着脱できる余裕を設けてください。
3. 給水圧力範囲は0.05MPa～0.75MPaです。この圧力範囲で使用ください。
4. 給水温度は0～35℃です。この温度範囲で使用ください。
5. 連結ホースの長さは0.97mです。給水取り出し位置は、ウォシユレットが着脱できる余裕を設けてください。もし連結ホースの長さが足りない場合は、**③**連結ホースの接続の③項に長い連結ホースを記載していますので、適切な長さのホースを選んでください。
6. 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。

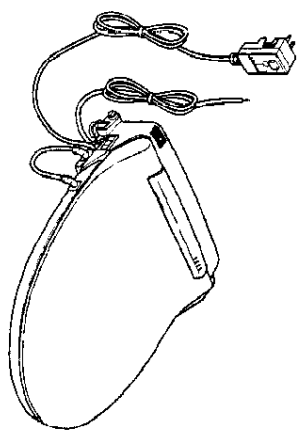
お問い合わせはTOTOPAーツセンター ☎ 0120-8282-55へお電話ください。

# 各部の名称

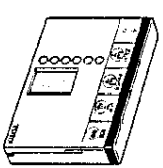


# 部品の確認

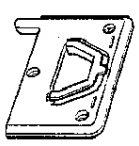
1 ウォシレット本体



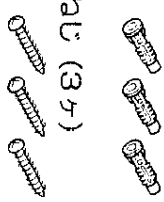
2 リモコン部品



リモコン(図はC4) リモコンカバー



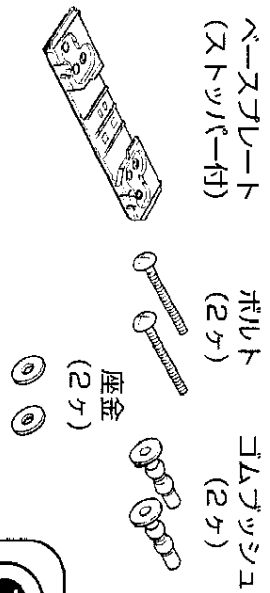
アンカーフラグ (3ヶ)



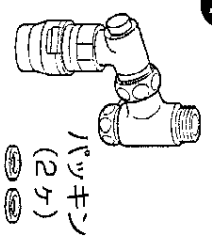
リモコン用乾電池  
(単三形×2ヶ)



3 ベースプレート部品



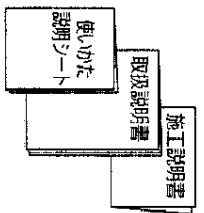
4 分岐金具



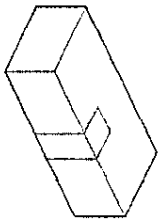
5 接続ホース  
(リベット付)



6 取扱説明書 (保証書付)  
使いかた説明シート  
施工説明書 (本書)



7 リモコン便器洗浄ユニット  
(C4Aタイプのみ)



※箱の中に便器洗浄ユニットの部品及び施工説明書が入っています。

# 取付方法

## 1 分岐金具の接続

### 一般のロータンクへ接続する場合

**1** 止水栓を開め、給水管を取りはずす。

②上下のナットをゆるめる

③給水管を取りはずす

①止水栓を閉める

止水栓

給水管

分岐金具

①袋ナットを止水栓に締め付ける

②給水カカフは下に向ける

止水栓

パッキン

**3** 給水管の止水栓側を切断する。

給水管

パイプカッター

差込部分10~15mmを必ず確保する

10~15mm

**POINT!**

給水管の切断はパイプカッターを使用してください。切断後は切粉などを取り除いてください。

接続部にテーパリングを使用している場合

接続部にテーパリングを使用していない場合

給水管

袋ナット

テーパリング

パッキン

パッキン

分岐金具

給水管

袋ナット

スリットナット

ゴムパッキン

分岐金具

差込代 約10~15mm

差込代 約10~15mm

**POINT!**

部品の順番、向きを間違えないでください。

### 4 給水管を取り付ける。

①ロータンク（ポールタツツ）側の袋ナットを締め付ける

②分岐金具側の袋ナットを締め付ける

袋ナット

袋ナット

ロータンク

ポールタツツ本体

袋ナット

**注意**

ポールタツツ本体が回らないようにしっかりと持って袋ナットを締めてください。ポールタツツが傾いて取り付けられると止水不良の原因になります。

### コンピース便器へ接続する場合

**1** 止水栓を閉める。

**2** ふさぎふたとゴムパッキンを取りはずす。

コンピース便器

ふさぎふた

ゴムパッキン

止水栓

**3** 分岐金具を止水栓に取り付け、ふさぎふたとゴムパッキンを取り付ける。

ふさぎふた

ゴムパッキン

分岐金具

パッキン（付属品）

止水栓

### フラッシュバルブへ接続する場合

フラッシュバルブへ接続する場合は、別売品のTH484（フラッシュバルブの給排水心120mm用）又はTH484-1（低圧フラッシュバルブ用）が必要となります。お求めはTOTOPARTセンター ☎ 0120-8282-55へお電話ください。

### 右給水の隅付タンクへ接続する場合

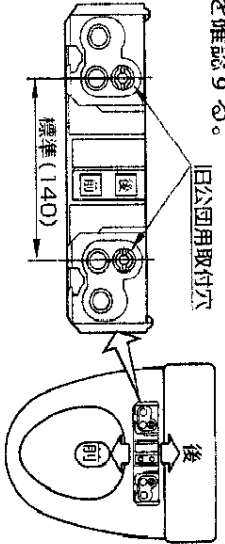
隅付タンクの給水が向かって右側の場合は、連結ホースが短いので別売品のTCA58が必要となります。お求めはTOTOPARTセンター ☎ 0120-8282-55へお電話ください。

## 2 便器への取り付け

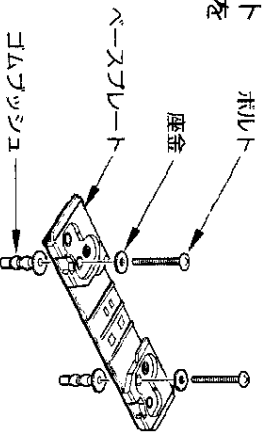
### 一般の便器への取り付け

1 ベースプレートを取付方向を確認する。

**POINT!**  
 図面と表示している面が表側です。図と表示している方を便器の先端側に向けます。

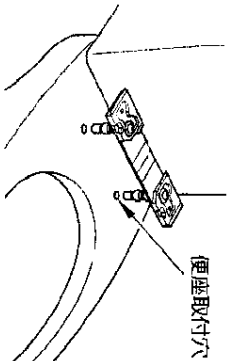


2 ベースプレート表側から座金・ボルトを差し込み、裏側からゴムワッシュを4〜5山程度なじ込む。



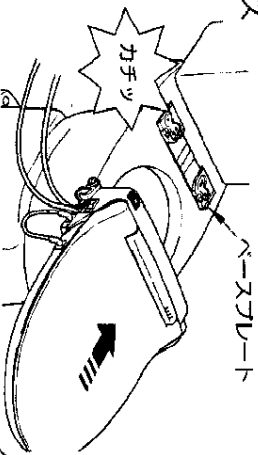
3 ゴムワッシュを便座取付穴に差し込み、上面からドライバーでボルトをかける締めしておく。

**POINT!**  
 ゴムワッシュの表面を水でぬらしておくとし込みやすくなります。



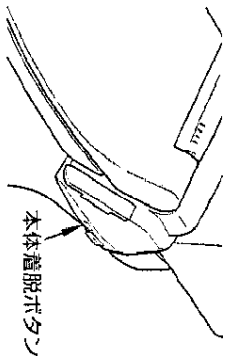
4 本体を「カチツ」と音がするまでベースプレートに押し込む。

**POINT!**  
 本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。



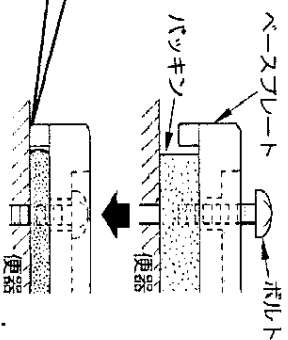
5 本体がまっすぐに取り付けくことを確認し、いったん本体を取りはずす。

**POINT!**  
 本体は本体着脱ボタンを押したまま手前に引くとはずせます。



6 ベースプレートが便器にあたるまでボルトをしっかりと締めた後、再び本体を「カチツ」と音がするまで押し込む。

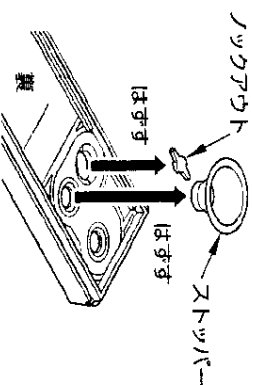
**POINT!**  
 パッキンがぶれて、ベースプレートが便器にあたるまで締め付けてください。



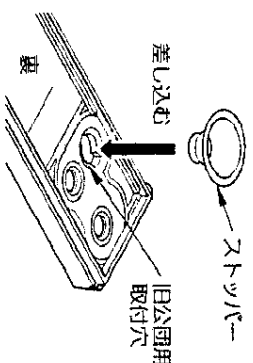
※本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のカタツキが発生します。(これは、本体ワッシュ着脱方式を行うために設けたスライド部の隙間によるもので、異常ではありません。)

### 旧公団用便器への取り付け

1 ストッパーをはさみ、ワッシュを取りはずす。



2 ストッパーを旧公団用の穴へ付け替える。

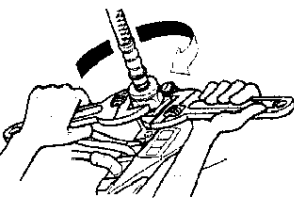


### 3 連結ホースの接続

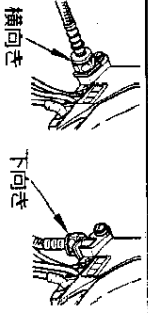
1 ウオシユレット本体の給水口に連結ホースの袋ナットを締め付ける。

**△ 注意**

必ず給水口をモンキーレンチで固定して連結ホースを接続してください。  
 (無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れする原因になります。)

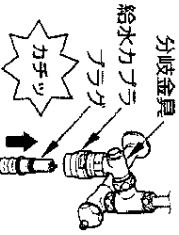


**POINT!**  
 ウオシユレット本体の給水口は下向きと横向きに回転します。  
 ロンピース便器の場合は給水口を横向きにしてください。



2 連結ホースのブラグ側を分岐金具の給水カプラに差し込む。

**POINT!**  
 「カチツ」と音がするまで差し込んでください。

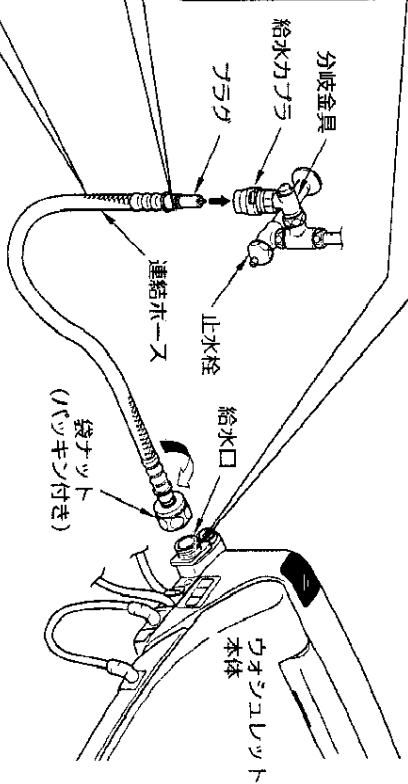


3 連結ホースを取り付けられた状態で、本体を取りはずしたり取り付けたらできる長さがあるか確認する。

※ 連結ホースの長さが足りないときは下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。(同製品の連結ホースの長さは970mmです。)お求めはTOTOパーセンタースターション☎0120-8282-55へお電話ください。

| 連結ホース長さ (mm) | 品番         |
|--------------|------------|
| 1184         | D24009ZRt5 |
| 1484         | D24009ZRt6 |
| 1984         | D24009ZRt7 |

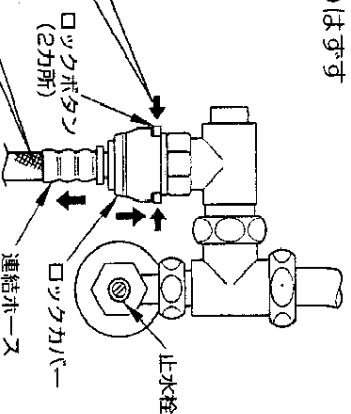
※ 分岐金具の給水カプラは一時止水機能付ですが、連結ホースをはずすときは必ず止水栓を閉めてください。



#### 連結ホースのはずしかた

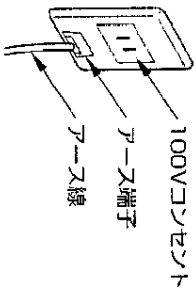
※ 施工のやり直しなどで連結ホースを取りはずすときは、次の手順で行ってください。

- 1 止水栓を開める。
- 2 ロータックの水を流す。
- 3 ロックボタン (白色の突起部 2カ所) を押したまま、ロックカバートを引き上げる。
- 4 ロックカバートを引き上げたまま連結ホースを引き抜く。



### 4 アース線の接続

● アース線をコンセントのアース端子に接続する。  
 ※ アース端子が無い場合は電気工事店にご相談ください。



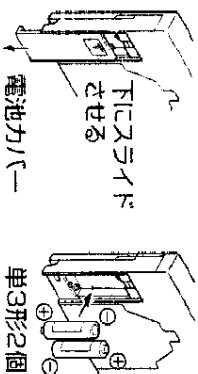
100Vコンセント  
 アース端子  
 アース線

# 試運転

## 5 リモコンの取り付け

1 電池カバーを開け、リモコンに電池を入れる。

※⊕⊖を間違えないでください。

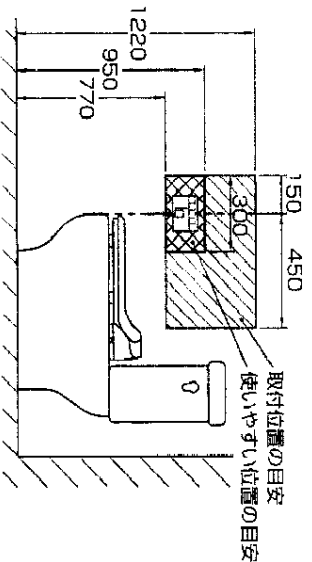


2 リモコンの取付位置を決める。

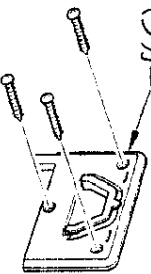
### 注意

※取り付けにあたっては取付予定位置でリモコンを操作して、おしり洗浄がはたらくことを確認してください。  
※らくらくリモコンを併設する場合は、らくらくリモコンの施工説明書をご確認のうえ、取り付けてください。

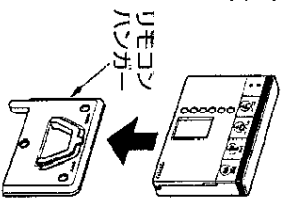
▨のところか取付位置の目安です。  
▨のところか使いやすい位置の目安です。



3 リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける。



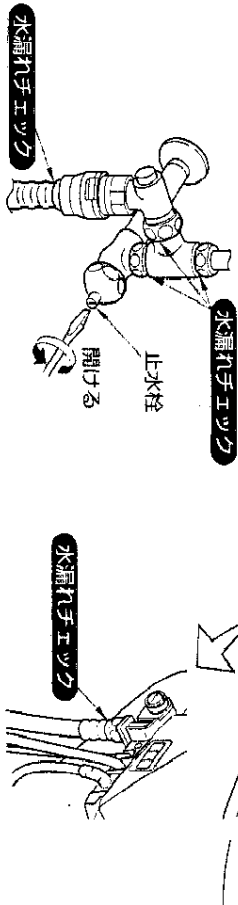
4 リモコンをハンガーにセットする。



●取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。

## 1 水漏れの点検

- 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する。
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する。



## 2 漏電保護プラグの確認

1 漏電保護プラグを100V (50/60Hz) のコンセントに差し込む。

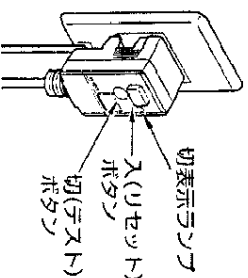
### CHECK!

ノズルが一旦出て戻る初期動作を行うか確認してください。

2 漏電保護プラグが正常に作動することを確認する。

### CHECK!

切(テスト)ボタンを押す → 切表示ランプ点灯入(リセット)ボタンを押す → 切表示ランプ消灯以上の動作であれば正常です。  
切表示ランプが点灯している状態では通電されません。テスト後は必ず入(リセット)ボタンを押してください。

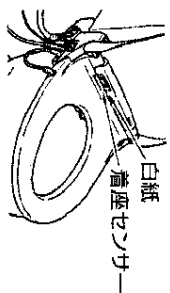


### 3 機能の確認

1 着座センサーを白紙でおおう。

**POINT!**

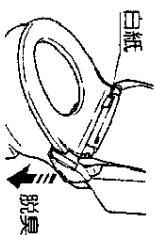
着座センサーを白紙でおおうと着座センサーが検知した状態になります。  
(便座を開めないで着座センサーははたらきません。)



2 脱臭機能を確認する。

**CHECK!**

● 本体の背面右側の吹出口より風が出ていますか?



3 バウ脱臭機能を確認する。

**CHECK!**

● リモコンのカバーを開けて **バウ脱臭** スイッチを押すと風が強くなりますか?  
● もう一度、**バウ脱臭** スイッチを押すと元の強さに戻りますか?

4 オートバウ脱臭機能を確認する。

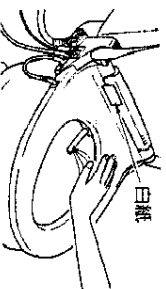
**CHECK!**

● 白紙をはすしたときに風が強くなりますか?  
● 1分後に自動的に止まりますか?

5 洗浄機能を確認する。(もう一度、着座センサーを白紙でおおってください。)

**CHECK!**

- を押すとノズルから適温の温水が出ますか?
- 水勢調節スイッチ を押すと水勢が変化しますか?
- 本体から水漏れはありませんか?
- を押すと止まりますか?



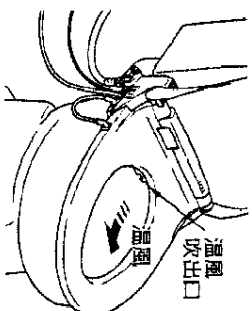
**POINT!**

吐水は手のひらで受けてください。

6 乾燥機能を確認する。

**CHECK!**

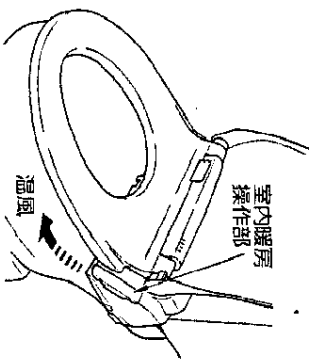
- を押すと温風がノズルの右側から出ますか?
- を押すと止まりますか?



7 室内暖房機能を確認する。

**CHECK!**

- 室内暖房操作部の室内暖房 を押すと、本体の右側から温風が出ますか?
- もう一度スイッチを押すと、約10秒後に温風が止まりますか?
- 室温が20～33℃のときは10秒間だけ温風が出ます。それ以上の室温のときは温風は出ません。
- 設定温度より室温が高くなると、温風が自動的に止まります。



8 暖房便座機能を確認する。

**CHECK!**

便座があたたまるまで約15分かかります。

9 着座センサーの白紙をはす。

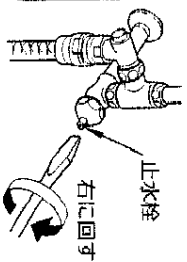
# 給水フィルター掃除

● 試運転後は必ず給水フィルターを掃除してください。  
(給水フィルターにごみが詰まると、おしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。)

1 止水栓を開めて給水を止める。

### △ 注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない。  
(水が噴き出します。)

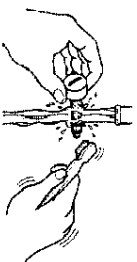


2 給水フィルター付水抜栓を左に回してゆるめた後、引っ張ってははずす。



3 給水フィルター及び先端部を水洗いする。

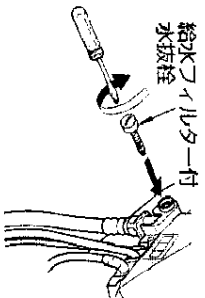
● 小さなおコシは歯ブラシなど確実に取り除いてください。



4 給水フィルター付水抜栓を押し込み、右に回して止まるまで確実に締める。

### △ 注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める。(確実に締めないと水漏れの原因になります。)



5 止水栓を開ける。

6 給水フィルター付水抜栓部から水漏れがないことを確認する。

# 凍結のおそれがあるときの処置

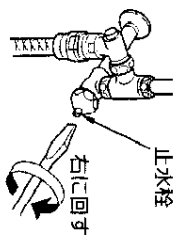
● お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故予防のため、次の要領で水抜きしてください。(漏電保護プラグは差し込んだままにしてください。)

1 □-タンクの水を抜く。

● 止水栓を開めて給水を止めてください。

### △ 注意

止水栓を開けたまま給水フィルター付水抜栓をはずさない。  
(水が噴き出します。)



● □-タンクレバーを回し、□-タンクの水を完全に抜いてください。

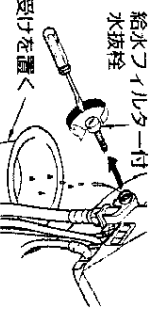
### POINT!

□-タンクの水が流れ出てしまいうまでレバーを回したままにしてください。

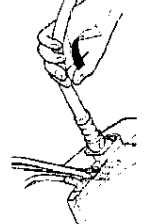


2 配管の水を抜く。

● 給水フィルター付水抜栓をはずれるまで左に回した後、引き抜いてください。

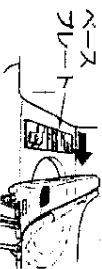


● 連結ホースを持ち上げて、ホース内の水を抜いてください。(30mℓ程度)



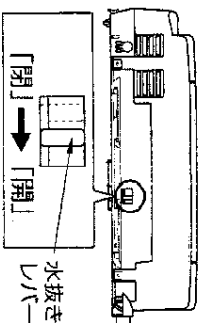
3 本体を便器から取りはずす

※ 水抜きレバーの操作は、本体を便器からはずした状態でないとできません。  
● 取りはずした本体は便器上面の前側に置いてください。(右図参照)



4 水抜きレバーを「開」位置にする。

### 本体背面

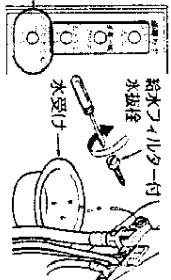


● 本体下側から水(40mℓ程度)が便器内に出たあと、さらにノズルの水抜きのため、自動的にポンプが作動します。  
※ 本体を傾けたりしないでください。  
(水が便器の外に出ることがあります。)

5 水抜きレバーを「閉」位置にする。

7 給水フィルター付水抜栓をはずして、リモコンのノズルソーjusスイッチを押す。

(製品内部の残水を抜きます。)



● 水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓を押し込み、右に回して確実に締め、もう一度ノズルソーjusスイッチを押す。

### △ 注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める。  
(確実に締めないと水漏れの原因になります。)

## 工事店様へ

● 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。  
● ワオシユレットの機能・使いかたについてお客様に説明してください。